

科目名	ワークショップ論			
担当教員	村尾 敏彦、中村 英一朗			
配当	人社1		コード	55011
開期	前期	講時	金曜日5限	単位数 2
授業テーマ	実際に自分の身体と心を使って、楽しくワークショップの手法を学びながら、自分と社会についての新たな向き合い方を探る			
目的と概要	人権をはじめ人生や世の中の様々な問題について必ず『正解』があるわけではないでしょう。また、教え込まれただけの正しい答えは、本当の意味で自分のものになっていないのかもしれません。そのような中でこのワークショップ論では①体験する(参加者は相互に学び合う)、②振り返る(自分の気持ちを言語化し、相手の言葉を傾聴する)、③一般化する(体験を分析し概念化する)、④応用する(それを経験知・経験則まで高め、次への行動を考える)を通して、人間の成長につなげます。			
成績評価法	授業毎に『振り返りシート』に記入してもらい、学期全体の自分の資料をもとに自己評価のレポートを提出してもらい、教員はそれを基に評価します。			
テキスト	特にテキストは使用しない			
参考書	必要があれば、その都度授業中に指示する			
履修に当たっての注意・助言／準備学習	・毎時講義の中で、感じたこと考えたことを「振り返りシート」に自分の言葉で丁寧に記載すること。 ・教室で椅子に座って講義に耳を傾ける形式の授業ではありません。心身を活動して体験する形式の授業なので、人数が多すぎると授業として成立しません。そのため人数制限をします。授業履修できるのは、60名までです。2クラスに分かれて履修します。授業での体験のふりかえりを反芻して、次の授業につなげてください。			
講義計画				
1. ワークショップとは？（7つの側面・話し合うルール作り・聞くトレーニング） 2. ワークショップの基本（ブレインストーミング・CARRトレーニング他） 3. ダイヤモンドランキング(仕事に求めるもの) 4. トラストゲーム 5. レスponsゲーム（ひとからひとへ波のように伝わって…） 6. 差別・偏見について考える①（『ちがいのちがい』より ～違いを豊かさ～） 7. 差別・偏見について考える②（『熱気球』より ～結婚の条件～） 8. 差別・偏見について考える③（多数派少数派・青い目茶色い目 [DVD] ） 9. イメージを共有して（大縄跳び） 10. Back to Back(絵を描くワーク) 11. 粘土のワーク（ふたりで作ったら…） 12. 貿易ゲーム①（南北問題を体験を通して考える） 13. 貿易ゲーム②（フォートランゲージ） 14. オークション（卒業までにつけたい力） 15. 授業のまとめ				